

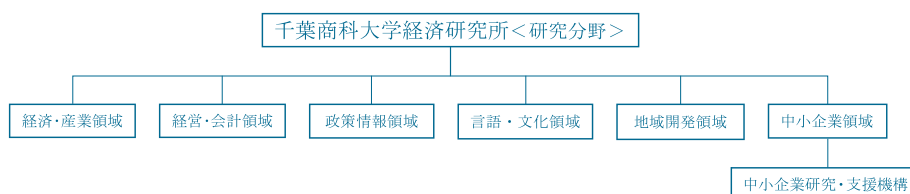
千葉商科大学経済研究所 中小企業研究・支援機構について

事業目的

千葉商科大学経済研究所は、本学が設置する学部等の専門分野に関連する研究調査及び教育研修活動を推進すると共に、中小企業の支援強化を目的に「中小企業研究・支援機構」を設置して地域経済の発展に貢献しています。この目的達成のために次のような事業を行っています。

- ・調査・研究の実施および受託
- ・機関誌の発行および研究成果の公表とその助成
- ・資料の収集とその保管
- ・研究会、講演会の実施および講習会、研修の受託
- ・内外の調査機関との研究交流、客員研究員・客員教授・訪問研究員・派遣研究員の受け入れ
- ・その他、研究所の目的達成に必要な事業

特に、学内外を問わず専門の研究機関や研究者、実務家等の協力を得て、研究調査活動の充実・強化に努めています。また、地元市川市を始め千葉県内自治体を中心に、教育研究成果の地域社会への還元を柱とした地域に根差した諸活動を展開しています。



■経済研究所 中小企業研究・支援機構の最新情報、活動中の研究プロジェクトの概要や研究成果及び刊行物の内容は次の経済研究所 Web 上でもご覧いただけます。

<https://www.cuc.ac.jp/keiken/>

主要事業

1. 研究プロジェクト

2021 年度の研究プロジェクトは、粛々と研究活動を継続しているものの前年度来のコロナ禍の影響により、国内外の出張調査は自粛せざるを得ず調査計画が停滞しました。これにより、原則 2 年間としていた研究期間は、3～4 年に延長して活動を継続します。

- (1) 「産官学連携による社会の問題解決型アクティブ・ラーニングに関する研究」2019～2022 年度研究
- (2) 「防災についての学際的な研究」2019～2021 年度研究
- (3) 「高等教育機関の教育・研究に対する非政府部門の資金贈与に関する研究」2020～2022 年度研究
- (4) 「訪日外国人旅行者による新婚旅行の特徴と発展可能性に関する考察」2020～2021 年度研究

2. 中小企業支援事例研究会

第 7 回中小企業支援事例研究会は、2021 年 12 月 25 日（土）にリモートにより開催しました。小谷健一郎機構長の司会進行により、客員研究員の中小企業診断士 3 名が具体的な支援事例を報告しました。①「特許出願支援」・坪井央樹研究員では、弁理士、IT ストラテジストでもある立場から、企業の特許技術やブランドを独自の強みにしていくまでの支援内容を解説しました。②「農業経営」・赤上順啓研究員では、「儲かる農業・法人化・経営マインド」を柱とした経営支援の下で展開したキノコ農家や養鶏場等の具体的な相談内容と使用ツールについて報告しました。③「卸売業」・沼口一幸研究員では、自社の状況把握と停滞する現状から脱却するための改善策やコロナ後の新たなビジネスモデル構築に向けた具体的な経営支援について報告しました。

本院商学研究科中小企業診断士養成プログラムで指導教授をされた前田進氏と大塚慎二氏による寸評とアドバイスの後、参加者による質疑応答や意見交換が行われて盛会裏に研究会を終了しました。同プログラムを修了した中小企業診断士を中心に 21 名が参加しました。報告概要を本誌 53～63 頁に掲載しています。

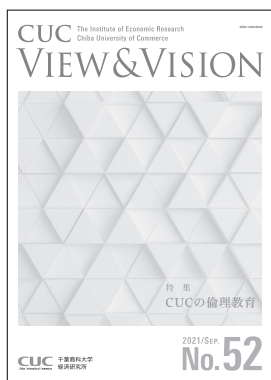
3. 刊行物

研究論文『国府台経済研究』<研究プロジェクトの研究成果を社会に還元し、その発展に貢献するための報告論文集>

◇第 30 巻第 1 号、2020 年 3 月 31 日。「消費スタイルの新潮流・倫理的消費とボランティア・シンプルシティ」

特集号。

- ◇第30巻第2号、2020年3月31日。「地域活性化に対するアートの役割について」特集号。
- ◇第31巻第1号、2021年3月31日。「安全で公平な金融システムの実現に資するFintechフレームワークの提案」特集号。
- ◇第31巻第2号、2021年3月31日。「オリンピック復興運動に関する社会文化史的考察」特集号。



機関誌<社会の様々な課題を、研究者・専門家や実務家等の知見・情報で分かりやすく解き明かす情報誌>

(1) 『CUC View & Vision』

◇No.52、2021年9月30日。全62頁。特集「CUCの倫理教育」。

(2) 『中小企業支援研究』

◇別冊Vol.7、2021年9月30日。全31頁。経営者インタビュー：①株式会社丸高商会／②有限会社遠藤電気商会／④株式会社ニイニ。

これらの刊行物(研究論文及び機関誌)の内容は、経済研究所WebサイトにWebbookを公開しているほか、次の千葉商科大学図書館リポジトリからもご覧いただけます。 <https://cuc.repo.nii.ac.jp/>

中小企業研究・支援機構 一般客員研究員について

1. 研究員の役割

- ・研究員として、中小企業の活性化に貢献する。
- ・研究員として、中小企業の知財承継に協力し、専門知識・技術の集積に努める。
- ・研究員として、千葉商科大学経済研究所並びに中小企業研究・支援機構の名声を高めることに貢献する。
- ・研究員として、機構の事業活動に積極的に参加・協力する。

2. 主な特典

- ・機関誌『中小企業支援研究』への投稿：研究員の研究成果を発表する場として、機関誌(年2回発行)に寄稿することができる。掲載原稿の選定は機構「編集委員会」が行うものとし、執筆者には機構運営委員会が定める所定の原稿料を支払うものとする。
- ・学内施設の使用：研究調査活動を目的として、申請により経済研究所施設内の「研究ブース」を使用することができる。

3. 研究員の申請

- ・本学大学院修士課程の中小企業診断士養成プログラム修了生であり、且つ機構一般客員研究員として必要な品位・人格を備えていると認められる者は、所定の申請書及び同プログラム担当教授の推薦により研究員に申請することができる。委嘱期間は当該年度内とし、継続の都度、申請書を提出する。

『中小企業支援研究』の投稿について

本誌の投稿者は、基本的に中小企業研究・支援機構の研究員の他に編集委員会が依頼した者として。本誌に日頃の研究調査活動の成果・実績等の発表を希望する研究員は、毎年3月を目途に実施する次年度の事業活動意向調査によりお申し込みください。但し、応募者多数の場合は、編集委員会の審議を経て最終的な依頼者を決定します。